

1 基本的事項						
(1) 価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 6 年 7 月 5 日	(6) 路線価	[令和 6 年1月]	280,000 円 / m ²
(2) 実地調査日	令和 6 年 6 月 12 日	(5) 価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		江戸川区北小岩六丁目 3 1 1 番 6 「北小岩 6 - 4 6 - 8」				地積 (㎡)	126 ()	法令上の規制等	
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設状況	主要な交通施設との 接近の状況		1 中専 (60, 150) 準防 高度(2種最高16m) (その他) (70, 150)	
	1 : 2	住宅 W 3	一般住宅、アパート等が 建ち並ぶ住宅地域		北6 m 区道	水道、 ガス、 下水	京成小岩590 m			
(2) 近隣地域	範囲		東 30 m、西 50 m、南 20 m、北 30 m			標準的使用		低層住宅地		
	標準的画地の形状等		間口 約 10 m、奥行 約 15 m、		規模 150 ㎡程度、		形状 長方形			
	地域的特性	特記 特にない	街 基準方位北 6 m区道		交通 京成小岩駅北東方590 m	法令 1 中専 (70, 150)				
		事項	路		施設	規制 準防 高度(2種最高16m)				
	地域要因の将来予測		利用の進んだ住宅地域で、地域内に特段の変動要因はなく、当面は現状の環境で推移するものと予測する。駅徒歩圏の住宅地域で、地価は堅調に推移するものと予測する。							
(3) 最も有効使用の判定		低層住宅地				(4) 対象基準地の個別的要因	方位	0.0		
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法	比準価格 365,000 円 / ㎡							
		収益還元法	収益価格 228,000 円 / ㎡							
		原価法	積算価格 / 円 / ㎡							
		開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡							
(6) 市場の特性		同一需給圏は、江戸川区北部、葛飾区南部のＪＲ総武線、京成本線沿線で徒歩圏の住宅地域。需要者の中心は地縁のある賃貸住宅居住者、都心部へ通勤する会社員である。京成小岩駅から徒歩圏で、周辺は区画整然として落ち着いた環境の住宅地域で一定の需要がある一方、既に利用の進んだ既存住宅地域で大量の新規宅地供給はなく、需給関係は比較的安定している。取引の中心価格帯は、新築戸建住宅で 4 , 5 0 0 万円 ~ 6 , 0 0 0 万円程度となる。								
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		同一需給圏では、自用の居住用不動産取引が中心で、本件では競合・代替関係にある北小岩、鎌倉周辺の住宅地域で成約した類似性の高い取引事例により実証的な比準価格が得られた。一方、同地域には賃貸用共同住宅も存するが、土地価格に見合う賃料水準が形成されていないため収益価格は低位に試算された。以上より、相対的規範性の高い比準価格を重視し、収益価格を参酌して、標準地及び指定基準地との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。								

(8)	代表標準地	標準地	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の標準価格 (円/㎡)	内 訳	標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 +2.0 0.0 0.0	地 域 要 因 その他	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 -2.0 0.0 0.0 0.0
公規価 示準格 価と 格し をた	標準地番号 江戸川	- 13												
	公示価格		[102.0]	100	100	[100.0]								
	347,000 円/㎡		100	[102.0]	[98.0]	100	354,000							
(9)	指定基準地番号		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の比準価格 (円/㎡)	内 訳	標準 化 補 正	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	地 域 要 因 その他	街路 交通 環境 行政 その他	0.0 +1.0 +20.0 +2.0 0.0
指か 定ら 基の 準検 地討	江戸川(都)	- 22												
	前年指定基準地の価格		[106.8]	100	100	[100.0]								
	410,000 円/㎡		100	[100.0]	[123.6]	100	354,000							
(10)	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 円/㎡ - 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 - 公示価格 円/㎡													
対年ら 象標の 基準検 準価討 地格 の等 前か	変動率	年間	%	半年間	%									
						〔一般的 要 因〕	江戸川区の人口は直近 1 年では増加した。低金利を背景に住宅市場は 堅調に推移。							
						〔地 域 要 因〕	利用の進んだ住宅地域で地域要因に大きな変動はない。京成小岩駅から 徒歩圏の落ち着いた環境の住宅地域で、需給関係は安定している。							
						〔個別的 要 因〕	個別的要因に変動はない。							